

化学肥料低減実施報告書

作付概要

作物名	作付面積(ha)
水稻	10
レタス	1.5
その他	3
計	14.5

作付概要は、申請時に提出した「低減計画書」と一致させること。

静岡 太郎

住所 静岡市駿河区馬淵〇-〇

電話番号 △△△-△△△-△△△△

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
2. 「今後の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

申請時に提出した化学肥料低減計画書ごとにこの実施報告書を作成してください。
※秋肥、春肥別に作成してください。

取組メニュー	令和4年度又は令和5年度 の取組	今後の取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	○
オ 汚泥肥		
カ 食品残渣		
キ 有機質		
ク 緑肥作物		○
ケ 肥料施用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等を含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用()		
総取組面積	10ha	10ha

「令和4年度又は令和5年度の取組」は実際に取り組んだ項目に○を記載願います。(原則低減計画書と同じ欄に○がつく)

最低2つ以上記載してください。

併せて、取組の証拠書類については取組実施者(肥料店・農協等)に提出、又は参加農業者で5年間は確実に保管することを徹底してください。

「今後の取組」は2つ以上「○」をつけること。そのうち一つ以上は新しい取組「○」もしくは従来の取組の強化・拡大として「◎」と記入すること。

選択した取組の「実面積」を記入
例) 土壌診断による施肥設計 10ha
堆肥の利用 5ha
5ha重複している場合は、合計15haから重複分を差し引き10haと記入